本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIO
リチウムクロノ
110
使用説明書

ご使用上の注意

カシオデジタルウオッチをいつまでも高精度でご愛用いただくため、下記の点を特にご留意ください。

(1) 極端に高い温度や、極端に低い温度条件下ではご使用にならないでください。機能が低下したり電池寿命を短くしたりする恐れがあります。
(2) 水が入りにくい構造になっていますが、精密な電子回路や部品を保護するために、入浴や海水浴、洗車時などの不確定な水圧が加わる恐れのあるときのご使用は避けてください。
(3) 通常の使用状態でのショックには耐えるよう設計されていますが、落としたり強い衝撃を与えますと故障の原因となりますので十分ご注意ください。
(4) この腕時計は、C/MOS-LSI や水晶振動子、それに液晶パネルなどの精密パーツで構成され組立てられていますので、時計の内部には絶対手をふれないでください。
(5) このカシオデジタルウオッチを腕から外したり、長期にわたってお使いにならないときは
(a) 寒冷地や夏場の直射日光が当る場所には放置しないでください。
(b) 水蒸気がたったり、たちこめるような湿気が極端に多い場所で長時間放置したり、保存しないでください。
(c) 消耗した電池を入れたままにしておきますと、故障の原因になります。長時間お使いにならないときは電池を抜くか、2年ごとに電池を入れかえながら保存してください。なお、電池の出し入れは絶対にご自分でなさらないでください。
(6) ボタン操作は確実におこなってください。
(7) 側ケースおよびバンドの汚れは、乾いた柔かい布か、中性洗剤液に浸し固くしぼった布でおふきください。尚、シンナー、ガソリン等の溶剤類・クリーナー類・接着剤および塗料類の付着は、化学作用により、側ケースおよびバンドの性能劣化、あるいは破損を招くことがありますので、時計に付着しないよう、充分ご注意ください。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
常温携帯精度：平均月差±15秒以内
表示方式：FE型液晶デジタル表示
基本機能：時・分・秒・午前／午後・日・曜日
オートカレンダー（2月28日制）
ストップウオッチ機能：計測単位＝1/100秒
計測範囲＝11時間59分59秒99（12時間計）
計測機能＝通常計測・積算計測・ラップ計測・1・2着同時計測
セットト機構：時刻・カレンダーセット機構
秒合わせ機構（±30秒クリア）
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子　ワンチップ C/MOS-LSI
使用電池：BR-2016(電池別途販売)
電池寿命：約2年（1日当り、ライトを1秒間3回点灯した場合)

電池交換について

最初の電池は工場出荷時に組み込まれているモニター用電池ですので、約2年に満たないうちに寿命がきれることがあります。
電池が消耗しますと「内部照明のライトが点灯しなくなったり」「急に遅れが目立ったり」「表示が消えたり」「見にくくなります」このような症状があらわれたら電池交換を行なってください。新しい電池とお取りかえいただきますとその後、約2年の間ご使用になれます。
電池交換は、精度や寿命、気密性の維持上必らずお求めのお店かお近くのカシオデジタルウオッチ取扱い店あるいは当社営業所・出張所・サービスセンターにお申しつけいただき当社指定のカシオデジタルウオッチ専用電池と交換してください。
カシオデジタルウオッチ専用電池以外の電池をご使用しますと時計の正常な働きをさまたげ、故障の原因ともなりますのでご注意ください。

液晶パネルの交換について

この時計には高品質のFE型液晶パネルを使用しておりますが、液晶はその性格上5年すぎますと、コントラストが低下したり、読みにくくなることがあります。その場合はお買いあげ店、またはカシオデジタルウオッチ取扱店へ交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

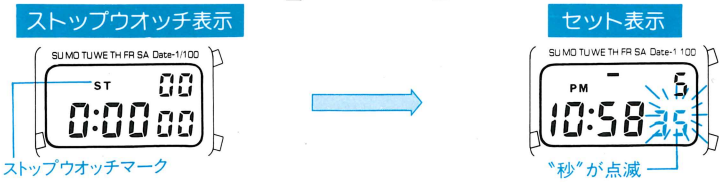
時計のお取扱いにあたりましては、万一、誤ったボタン操作を行ないましても製品に障害を与えることは一切ありません。この時計の特長、機能を十分使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでお試しください。

操作のしくみと表示の見方

今、どんな表示になっていますか？

この時計は下図の様に〈基本表示〉〈ストップウオッチ表示〉〈セット表示〉の３つの表示があり、Ⓑボタンを押すごとに ⇨ の順で、表示が切替わります。Ⓑボタンを押して、それぞれの表示を確認してください。





３つの表示の見分け方
- “ST”が点灯⟶ストップウオッチ表示
- “秒”が点滅⟶セット表示
- 上 記 以 外⟶基本表示

基本表示の見方・使い方

Ⓑボタンを押し、〈基本表示〉にしてください。基本表示は右図のように、時・分・秒・午前/午後・日・曜日を表示します。

★基本表示のときの各ボタンのはたらき
- Ⓐボタン……押している間、ストップウオッチ表示になります。
- Ⓛボタン……ライトが点灯します。
- Ⓑボタン……表示切替え。



秒の合わせ方……30秒以内の遅れ進みの修正

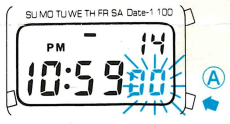
月に１度ぐらい、この「秒合わせ」をしていただくと、時計はいつも正確です。

(1) Ⓑボタンを押し、「セット表示」にします。



(2) 時報に合わせて、Ⓐボタンを押すと「秒」が点滅しながら 00 からスタートします。

秒表示が00～29のときは切捨てられ、30～59のときは、１分くりあがって00秒からスタートします。



(3) Ⓑボタンを押し、「基本表示」に戻します。

★時報は電話117番が便利です。



時刻・カレンダーの合わせ方

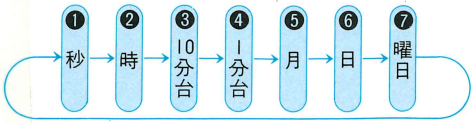
電池交換後など時刻やカレンダーが合っていない場合は以下の方法でセットしてください。

(1) Ⓑボタンを押してセット表示にします。
確認 ⇨ 〝秒〟が点滅していますか？

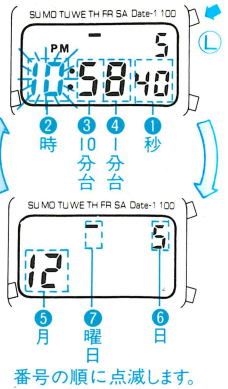


(2) Ⓛボタンを押します。
確認 ⇨ 点滅する個所が移動しましたか？

★セット表示のとき、Ⓛボタンを押すごとに以下の順で点滅する個所が移動します。Ⓛボタンを押してセットしたい個所を選びます。

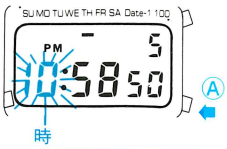


★点滅している個所がセット可能です。



(3) (セットしたい個所が点滅しているとき)
Ⓐボタンを押します。
確認 ⇨ 点滅している表示が１つ進みましたか？

★セット表示のとき、Ⓐボタンを押すごとに、表示が１つずつ進みます。
注「秒」のときは表示が 00 になります。
⇨「秒の合わせ方」参照



Ⓛボタンで、セットしたい個所を選び、Ⓐボタンで表示をセットするという操作をくりかえし行ない、時刻、カレンダーをセットしてください。
注1)「時」のセットのとき、午前/午後(AM/PM)の指定をまちがえないようご注意ください。
注2) 基本表示で「月」は表示しませんが、オートカレンダー機能ですので「月」をセットしてください。

(4) (セットが終わったら、どの個所が点滅していても)
Ⓑボタンを押します。基本表示に戻りセット終了です。
確認 ⇨ 点滅が止まりましたか？



■セット例、「時」と「曜日」をセットする。
① Ⓑボタンを押し、セット表示にする。
② Ⓛボタンを押し、「時」を点滅させる。
③ Ⓐボタンを押し、「時」をセットする。
④ Ⓛボタンを押し、「曜日」を点滅させる。
⑤ Ⓐボタンを押し、「曜日」をセットする。
⑥ Ⓑボタンを押し、基本表示に戻す。

セット表示は、時刻やカレンダーをセットするためのものですので、不必要にセット表示にしないでください。なお、誤操作防止のため、セット表示にしたまま、操作せずに、２～３分経過すると自動的に基本表示に戻ります。

ストップウオッチの使い方

●本機のストップウオッチ機能は1/100秒単位、12時間計で、表示は11時間59分59秒99を超えると０に戻り、計測を続けます。

基本表示のとき、Ⓑボタンを１度押しストップウオッチ表示にします。

基本表示 ⟶ Ⓑボタン ⟶ ストップウオッチ表示

●ストップウオッチ表示のときのボタンのはたらき
- Ⓐボタン……スタート／ストップ
- Ⓛボタン……ラップ／ラップ解除、リセット
- Ⓑボタン……表示切替え

●計測のしかた

★通常計測

Ⓐスタート ⟶ Ⓐストップ ⟶ Ⓛリセット

※ロスタイムがある場合(積算計測のしかた)：ストップ後、リセットせずに再スタート(Ⓐを押す)すれば、表示タイムに引き続き計測をはじめます。



★ラップタイム計測

Ⓐスタート ⟶ Ⓛラップ計測(LAPが表示) ⟶ Ⓛラップ解除(LAPが消える) ⟶ Ⓐストップ ⟶ Ⓛリセット

★１、２着のタイム計測

Ⓐスタート ⟶ Ⓛ１着がゴール(１着タイム表示)(LAPが表示) ⟶ Ⓐ２着がゴール ⟶ Ⓛ２着タイム表示(LAPが消える) ⟶ Ⓛリセット

※ストップウオッチ機能を使ったあと(計測中あるいは計測停止中でも)、Ⓑボタンを押すと、セット表示をとび越し直接、基本表示に戻ります。なお、計測中に基本表示に戻しても、計時には一切影響ありません。